



核危機克服へ市民連帯

広島で第1回平和都市会議閉幕

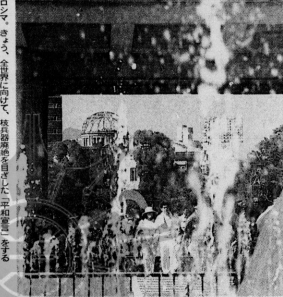
95市内 国境超えて行動模索

核兵器禁止を目的とした、国内有数の都市間で行われている「核兵器禁止都市会議」の広島市第1回大会が、6日午後11時、市市民会館で閉幕した。大会は、市内の約95の自治体が参加し、核兵器の廃絶と平和の達成に向けた具体的な行動計画を模索した。会議では、各自治体の代表者が、核兵器の危険性を共有し、相互に支援を申し出ることで、市民連帯の重要性を再認識した。また、核兵器禁止を達成するための国際的な連携の必要性も強調された。大会は、市民の声を代弁する代表者たちによる討議と意見交換を通じて、平和と核廃絶の道を模索する場となった。

ヒロシマ40周年

核廃絶 世界に訴え

広島市原爆IROSHIN AI



広島市原爆IROSHIN AIのイベントの様子。市民が平和を祈念し、核廃絶を訴えている。

ヒロシマ40周年を記念して、広島市は「原爆の日」を契機として、核兵器の廃絶を世界に訴えている。広島市は、原爆の被害を伝えるとともに、平和の大切さを伝える場として、市民連帯を推進している。また、国際的な交流を通じて、核兵器禁止の運動を盛り上げている。市民たちは、核兵器の廃絶を達成するために、互いに協力し、行動を起こしている。この日は、市民たちが平和を祈念し、核廃絶を訴える貴重な機会となっている。

きょう「原爆の日」

ヒロシマ40周年を記念して、広島市は9月6日「原爆の日」を契機として、核兵器の廃絶を世界に訴えている。市民連帯を推進し、平和を祈念する場となっている。

中国新聞

発行所：中国新聞社 本社：東京千代田区千代田1-2-1 電話：03-5532-1111 中国新聞社 編集局：東京千代田区千代田1-2-1 電話：03-5532-1111 中国新聞社 印刷局：東京千代田区千代田1-2-1 電話：03-5532-1111



きょうの紙面

<22ページ>

隠岐一本土、8人がリレー遠泳
ヒロシマ40周年を記念して、隠岐県民がリレー遠泳を行った。8人が参加し、県民の団結を象徴する壮観な行事となった。また、広島市では「原爆の日」を契機として、核兵器の廃絶を世界に訴える活動が行われた。

中曽根首相 広島入り

けさ平和祈念式に出席

中曽根首相が6日午後、広島市に到着し、平和祈念式に出席した。首相は、核兵器の廃絶を訴え、平和の大切さを強調した。また、広島市を訪問し、市民と交流する機会も得た。

自民、10月召集が大勢

臨時国会 20日以降に本格調整



広島空港で先大広島市を訪れた中曽根首相と市関係者らとの出迎を受ける中曽根首相。

自民党が、10月の召集が大勢となり、臨時国会の開催が濃厚視されている。自民党は、10月の召集を決定し、臨時国会を20日以降に本格調整する方針を打ち出している。これは、野党との協議や、政府の政策に関する調整のためである。また、自民党は、選挙戦に向けての準備を進めていると見られる。

月内決定を断念

関係4閣僚、きょう確認

関係閣僚が6日午後、閣議で10月召集の断念を決定した。関係閣僚は、きょう確認し、断念の理由を説明した。断念の理由は、野党との協議が進展せず、政府の政策に関する調整が完了していないためである。また、選挙戦に向けての準備が十分でないことも理由の一つと見られる。

非核条約を

きょう採択

非核条約がきょう採択された。これは、核兵器の廃絶を促進するための重要なステップと見られる。採択された条約は、核兵器の保有を禁止し、核兵器の拡散を防ぐことを目的としている。また、条約は、核兵器の開発や保有を行っている国々に対して、核兵器の廃絶を求めた。

戦後40年

私たちはどう生きてきたか

戦後40年を振り返り、私たちはどう生きてきたかを考える。戦後の日本は、経済の発展を遂げ、生活水準が大幅に向上した。しかし、戦後40年という長い期間を生きる中で、さまざまな課題や問題にも直面してきた。私たちは、過去の教訓を学び、未来に向けて歩んでいく必要がある。



広島市原爆IROSHIN AIの建物。平和の象徴として知られている。

原爆炎火害 ヒロシマ

広島市原爆炎火害追体験会。市民が原爆の被害を体験し、平和の大切さを学ぶ機会となった。

戦争責任 家永三郎著

戦争とはなんだったか？ 戦後40年、未問いだし。家永三郎の著書が、戦争の責任を問う。

太平洋戦争 家永三郎著

太平洋戦争の歴史を振り返る。家永三郎の著書が、戦争の真相を明らかにする。

資料日中戦争期阿片政策

日中戦争期間中の阿片政策に関する資料をまとめた書籍が出版された。

荒野に追われた人々

戦時下の苦しみを伝える『荒野に追われた人々』。読者の心を打つ内容となっている。

いま日本人であると

戦後40年を振り返り、いま日本人であると自覚する。戦後の日本社会の発展と課題について考える。

岩波書店。戦後40年をテーマにした書籍を豊富に揃えている。

鈴木首相が慎重論

鈴木首相が閣議で慎重論を述べた。閣僚の間には、閣議の進行が滞りつつあるという見方もある。

1%枠撤廃

1%枠の撤廃に関する議論が進行中。関係閣僚の間では、撤廃の是非が争われている。

体温計

体温計の精度向上に関する最新技術が発表された。健康診断や医療現場で広く利用される見込み。

天気録

今年度の天気記録が発表された。夏の暑い時期が続いたと見られる。

経済問題の

地域活性化に向けた取り組みが発表された。雇用創出と経済成長を目指す。

非核条約を

非核条約の採択が決定された。核兵器の廃絶に向けた重要な一歩と見られる。

隠岐一本土、8人がリレー遠泳

隠岐県民がリレー遠泳を行った。8人が参加し、県民の団結を象徴する行事となった。